

第 24 回企業・組織の BCP／防災勉強会@仙台を開催しました（2016/6/10）

テーマ：熊本地震、事業継続計画（BCP）、防災
場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市青葉区）

2016年6月10日(金)の夕刻、東北大学災害科学国際研究所において、当研究所の丸谷浩明教授（人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野）の研究室が主催する第24回企業・組織のBCP／防災勉強会@仙台が開催され、丸谷教授、寅屋敷哲也助教（同分野）が話題提供し、佐々木宏之助教（災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野）も参加しました。当勉強会のメンバーには、各業種の民間企業や東北地方の公的組織、東北大学の教員や学生など、現在約50名が参加登録しており、当日は14名が参加しました。

当日は、まず寅屋敷助教が「熊本地震における企業への影響」について、企業ホームページや報道記事を基に被災企業の被害・対応に関する最近の状況を情報提供し、参加メンバー間で熊本地震の被災企業の事例から、災害後の従業員の雇用や配置転換についてBCPにおいて考えるべき点などの議論が行われました。次に、丸谷教授から自身のコメントが掲載されている地方自治体のBCPの策定状況等に関する新聞報道記事を紹介し、地方自治体の代替拠点の考え方、罹災証明の発行方法などについての質疑応答が行われました。最後に、丸谷教授から「事業継続推進機構（BCAO）における企業・組織の継続的な成長・適応を支える3つの要素について」説明し、急激・大幅な環境変化や需要減少についても事業継続マネジメントの対象として考えることについて、民間企業と行政組織の違いも踏まえつつ、参加メンバー間で幅広い意見交換が行われました。

当勉強会についてご関心がありましたら、sankangakumin@irides.tohoku.ac.jp宛てに、ご連絡を頂ければ、より詳しく情報提供を致します。



勉強会の様子

文責：丸谷浩明、寅屋敷哲也（人間・社会対応研究部門）